

第23回中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会
産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会
第11回容器包装リサイクルWG合同会合 ヒアリング

資料 6



容器包装リサイクル法見直し PETボトル再商品化事業者として

平成16年10月21日
オール・ウェイト・リサイクル株式会社(AWR)
代表取締役 根本 謙一

容器包装リサイクル法見直し PETボトル再商品化事業者として



1. PETボトル再商品化事業の現状
 - 1) 入口（分別収集量、再商品化能力、入札）
 - 2) 中間（再商品化事業）
 - 3) 出口（再商品化製品利用事業）
2. 現状の課題と提言
3. まとめ

1. PETボトル再商品化事業の現状



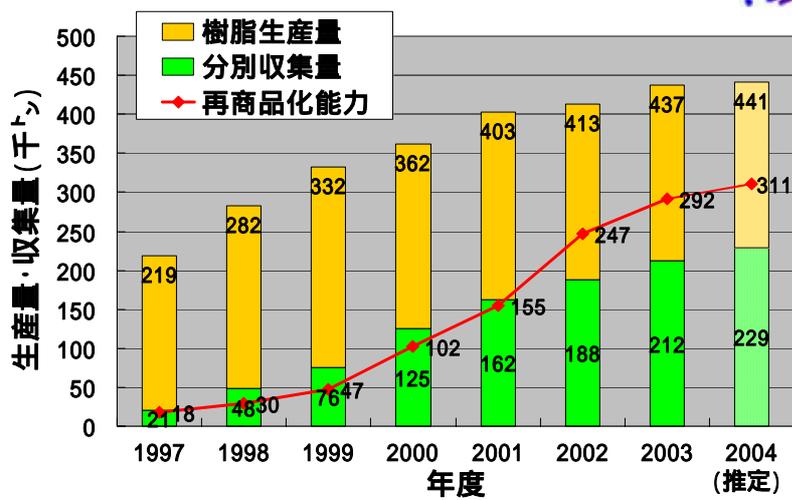
1) 入口

- 分別収集量、再商品化能力
入札

2004/10/21

3

図1 樹脂生産量・分別収集量・再商品化能力の推移

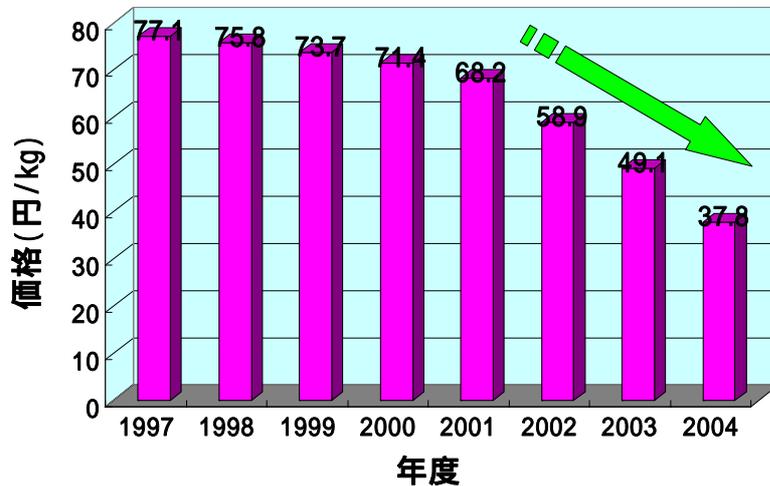


2004/10/21

出所:PETボトルリサイクル年次報告書(2004年度版)

4

図2 再商品事業者落札価格の推移



実績出所: 日本容器包装リサイクル協会ニュース No.26 August 2004

2004/10/21

5

1. PETボトル再商品化事業の現状

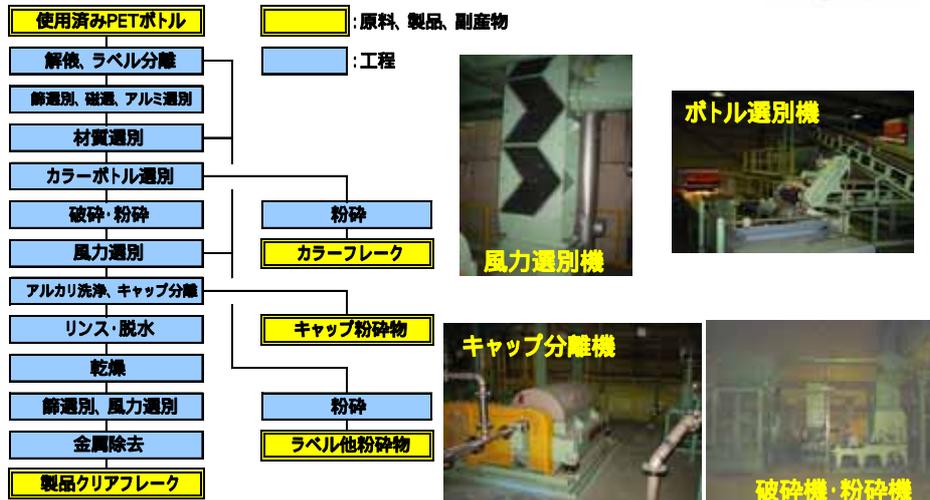


- 1) 入口 (分別収集量、再商品化能力、入札)
- 2) 中間 (再商品化事業)
 - フレーク化工程
 - Bottle-to-Bottle

2004/10/21

6

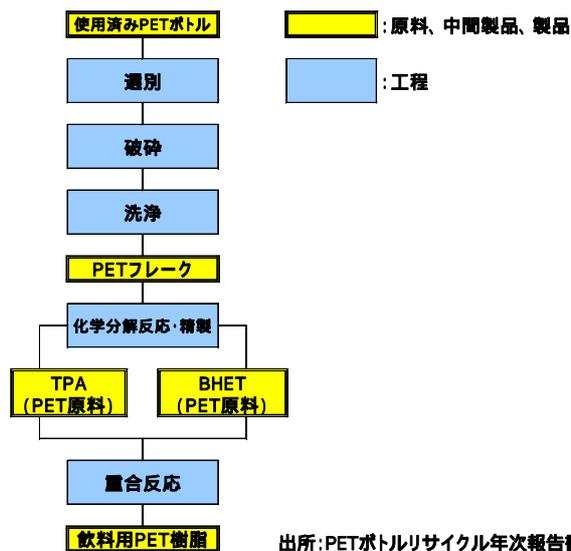
図3 フレーク化工程フロー(AWRの例)



2004/10/21

7

図4 Bottle-to-Bottleの工程フロー



2004/10/21

出所: PETボトルリサイクル年次報告書(2004年度版)

8

1. PETボトル再商品化事業の現状



- 1) 入口（分別収集量、再商品化能力、入札）
- 2) 中間（再商品化事業）
- 3) 出口（再商品化製品利用事業）
 - 2001年4月グリーン購入法の効果
 - 用途と利用量の拡大

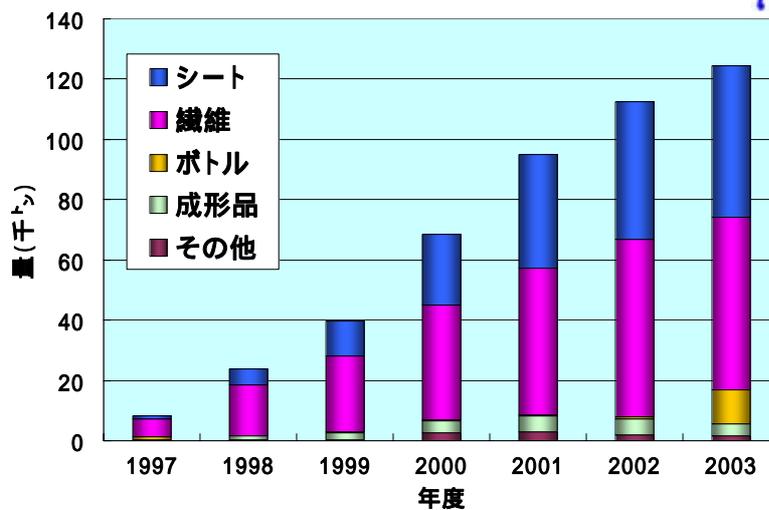


フレック需給タイト、価格アップ

2004/10/21

9

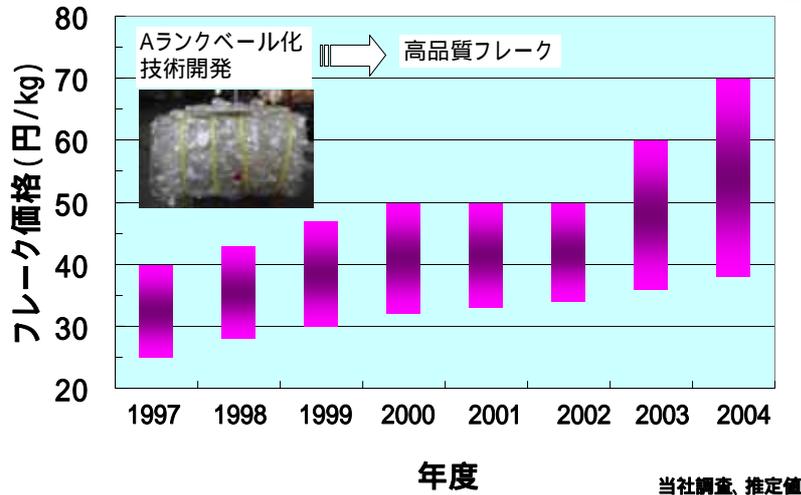
図5 製品利用量推移・用途



2004/10/21

出所: 日本容器包装リサイクル協会ニュース No.26 August 2004 10

図6 フレーク価格の推移（推定）



2004/10/21

11

2. 現状の課題と提言



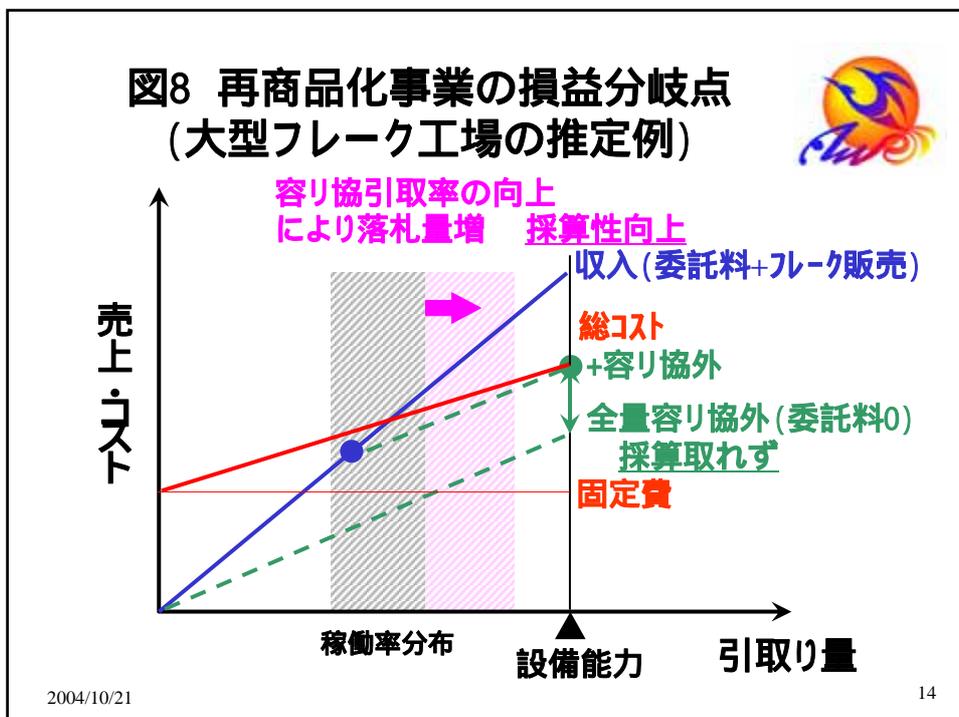
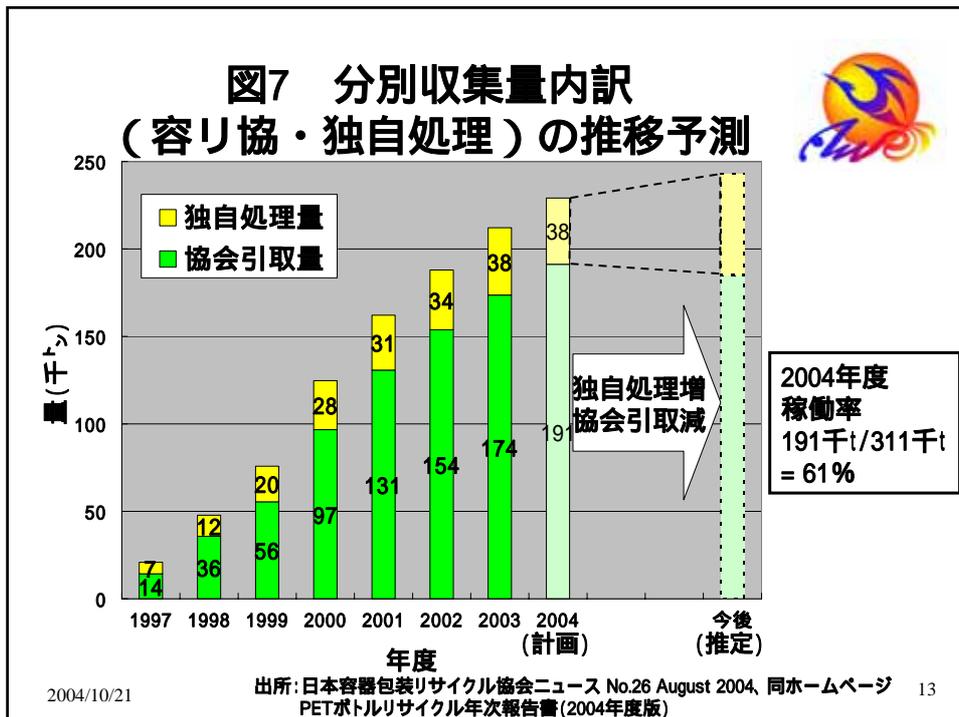
ペール品の独自処理量の増加

- ・再商品化工場：経営不安
(稼働率低下、入札競争激化)
- ・リサイクルルートの特レーサビリティ不安
(リサイクル先での安全、衛生、環境および安定性)

容器包装リサイクルシステムの持続性に不安

2004/10/21

12



2. 現状の課題と提言



容器包装リサイクルシステムの持続性のために



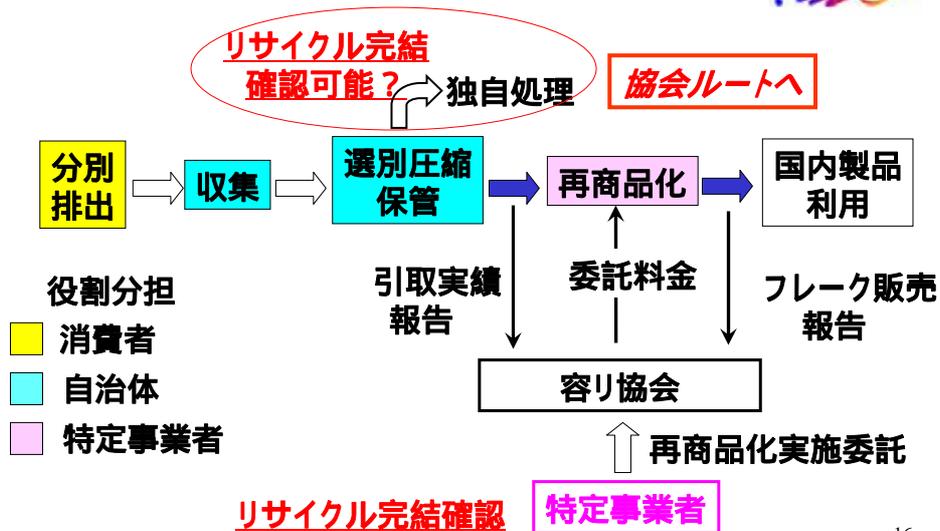
- ・独自処理ルートへのトレーサビリティ
- ・再商品化事業者の事業運営安定化

容器協ルートで再商品化する仕組みづくり

2004/10/21

15

図9 トレーサビリティ確認の仕組み



2004/10/21

16

2. 現状の課題と提言



自治体の独自処理への対応

再商品化製品利用事業への対応

現状は主として繊維、シートに依存



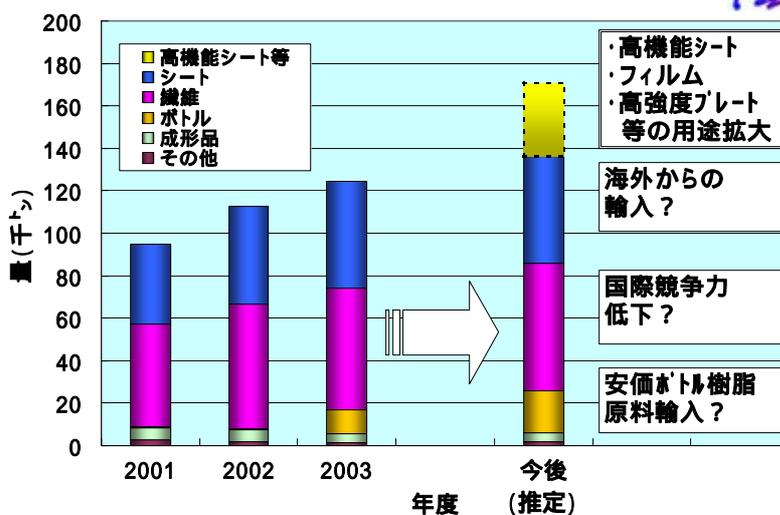
再生品適用範囲の拡大や新製品開発のための
支援制度の充実

例えば、食品容器包装向け多層シートの開発・評価、
フィルム製品開発への補助金、低利融資等

2004/10/21

17

図10 製品利用用途の拡大



2004/10/21

実績出所: 日本容器包装リサイクル協会ニュース No.26 August 2004 18

2. 現状の課題と提言



自治体の独自処理への対応

再商品化製品利用事業への対応

事業系一廃、産廃系のリサイクル

現状は、国内、輸出リサイクル混在

- ・ 資源有効活用？
- ・ 国内CO₂削減？

- ・ パーゼル条約の遵守？
- ・ 輸出先での適正リサイクル？

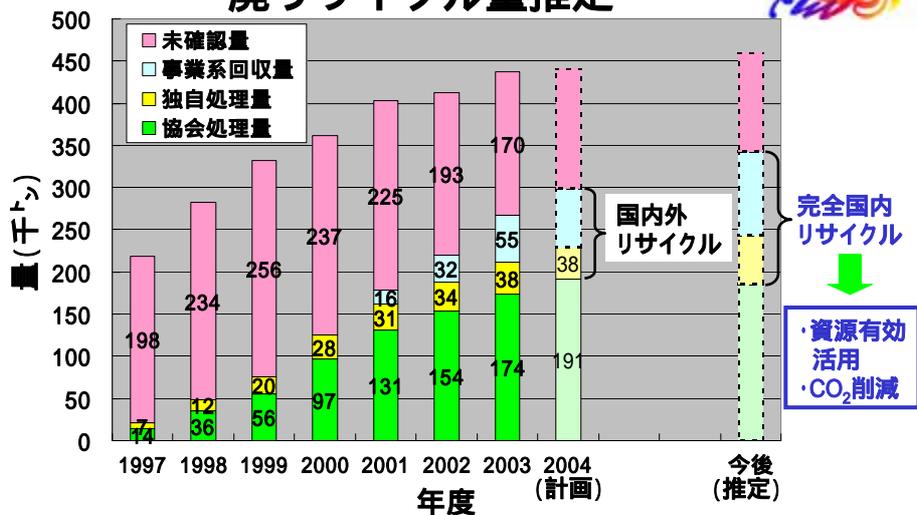
PETボトルの場合、国際資源循環の検討の前に

国内リサイクルの方策が必要

2004/10/21

19

図11 容り協/独自処理/産廃・事業系一廃リサイクル量推定



2004/10/21

実績出所: 日本容器包装リサイクル協会ニュース No.26 August 2004, 同ホームページ
PETボトルリサイクル年次報告書(2004年度版)

20

容器包装リサイクル法見直し PETボトル再商品化事業者として



・ まとめ

課題	提案
自治体独自処理	容リ協会への引渡し
再商品化製品利用事業	用途拡大のための支援制度
事業系一廃・産廃系の リサイクル	国内リサイクル推進

2004/10/21

21

オール・ウェイト・リサイクル株式会社として



Clean : 適正処理、住民に公開

Clear : 遵法、企業透明性

Credit : 信用、信頼

3Cの推進

2004/10/21

22